



公益社団法人
関西経済連合会

「夢洲コンストラクション」から始まる 関経連の夢洲まちづくりへの取り組み

2022年8月26日

関西経済連合会
都市創造専門委員会WG 座長
(関電不動産開発株式会社 代表取締役社長)

藤野 研一

1. 関西経済連合会について
2. 関経連のスーパーシティへの取り組み
(夢洲コンストラクションの推進)
3. 関経連の夢洲まちづくりへの取り組み

1. 関西経済連合会について

【名称】  公益社団法人関西経済連合会

【会長】 松本 正義
(住友電気工業株式会社 会長)

【会員】 主に関西の企業、団体、
学校法人など約1,300団体

【設立】 1946年(昭和21年)10月

【職員数】 約 1 0 0 名

【所在地】 大阪市北区中之島6-2-27
中之島センタービル



関西ビジョン2030

コンセプト：先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気

今こそ関西は、集団で行動する群れから先駆けて飛び立つファーストペンギンの心意気で、先駆けて取り組む企業や人を惹きつけ・育むことで新たな価値を生み出す地域になる、また関西自らが先駆けとなり、社会経済の新たな姿を提示・実践していく。

2025年大阪・関西万博に先端的な技術やビジネスモデルが結集することによって全国の先駆的なモデルとなることをめざす



関西のありたき姿

オープンで独創的な価値を生む経済
～先駆ける企業が価値を生む～

ヒトを惹きつける舞台
～先駆けるヒトを「育む」「受け入れる」～

新たな社会モデルのトップランナー
～関西自らが先駆けとなって新たな社会を切り拓く～

ありたき姿

オープンで独創的な価値を生む経済

ヒトを惹きつける舞台

新たな社会モデルのトップランナー

視点

視点

Look West

「アジアを見よ」
 ・徹底的なアジア目線・双方向のつながりの活発化

「西日本を見よ」・西日本とのつながりの深化

「関西自らを見よ」・関西独自の強みを生かす

関経連による

7本の矢

【詳細 次ページ】

ONE 関西

広域的視点による資源の最適活用

個性ある都市の有機的つながり

さまざまな関係者の結集

推進力

知の拠点としての

大学の力

世界的にトップレベルの知の拠点
 研究開発をはじめあらゆる面での共創パートナー

共創

民の力

三方よしをはじめとする経営哲学・利他心
 行政任せにせず民が主導する気概

共に創

行政の力

関西の底流にある本質

歴史にもとづく伝統・文化

関西の精神

～寛容さ・面白さや独創性への評価・進取の気性～

① **アジアをはじめとする
世界との双方向のつながりの強化**

- 「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」推進
- 世界における交流拠点としての機能強化
外国人視点での魅力向上・発信、インバウンドの復活・拡大に向けた先駆的な取り組み提案

③ **道州制実現につながる
地方分権・広域行政の促進**

- 関西広域連合の機能強化に向けた取り組み
広域の視点で実施すべき施策に必要な権限・財源の大胆な移譲に向けた提案
- 道州制を含む分権・分散型社会に向けた働きかけ

⑤ **多様な人材が能力を最大限発揮できる環境整備**

- 活躍の場を求めるヒトを惹きつけ育むNo.1地域に向けた実践
企業を舞台に活躍したいヒト（まずは女性・留学生）、様々な分野で世界に先駆けるヒト（起業家、トップアスリート、アカデミアなど）、一つの組織にとらわれない・雇用によらない働き方を選択するヒト
- 雇用の多様性と流動性の向上に向けた取り組み
企業の雇用制度・大学教育のあり方、各法制度などに関する先駆的な課題提起

② **あっちこっち関西・イノベーションプロジェクト**

- 企業や大学などの枠を超えた協業や研究開発の活性化につながるイノベーション・エコシステムの構築
- 関西各地におけるイノベーション創出や社会課題の解決に向けた多様な主体による混じり合い・協業を促す仕組みづくり

④ **三方よしにもとづく
「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり**

- 多様なステークホルダーを意識した新たな時代における企業が果たすべき役割のあり方を浸透させるための仕組みの提唱
- 行政などと企業の連携強化に向けた取り組み
(テーマ例：地方の活性化や自然災害・感染症への対策など各社会課題、エネルギー・地球環境問題)

⑥ **心身ともに健やかになる活力ある地域づくり**

- 健康・医療分野におけるデータ利活用の推進
- スポーツ先進地域に向けた取り組み
「する」「みる」「ささえる」スポーツの活性化、ワールドマスターズゲームズ2021関西のレガシーを創出・継承する仕組みづくり
- 文化の継承・発展に向けた取り組み、豊かな人生につながる学びの場の創出に向けた検討

⑦ **プロジェクトDX in 関西**

- 地域としてのDX推進の諸方策をとりまとめたブループリントの策定 ～「関西DX戦略2025(仮称)」～

	22年度事業計画	第1四半期の主な取り組み
地方分権・広域行政	(1) 道州制実現につながる地方分権・広域行政の推進	・「関西における望ましい広域行政のあり方検討会報告書」策定 ・関西広域連合の機能強化・組織強化
三方よし・民の力	(2) マルチステークホルダー主義に基づく企業経営を広げる取り組み	・新しい資本主義実現会議への働きかけ ・四半期開示義務付け廃止に向けた働きかけ
グローバル・アジア	(3) アジアをはじめとする世界との双方向のつながりの強化	・日本・アジア双方向でのビジネス創出の推進(A B Cプラットフォーム) ・各国政府・経済界との連携強化
イノベーション・エコシステム/産業プラットフォーム	(4) イノベーションが創出されるエコシステムの構築、産業振興の加速	・起業街道・関西プロジェクトの推進 ・あいち・つくし関西・イノベーションプロジェクトの推進 など
DX	(5) 関西が一体となったDXの実践	・関西DX戦略中間報告の取りまとめ ・ スーパーシティ推進に向けた取り組み
環境エネルギー・GX	(6) 持続的な経済成長と環境の両立	・環境・エネルギー政策に関する情報収集、発信
都市・観光・文化	(7) 交流拠点としての機能強化	・ 京阪神都市圏の都市魅力の向上 ・関西観光本部グランドデザインの推進 など
雇用労働・D&I	(8) 多様な人材が能力を発揮できる環境の整備	・雇用・働き方に関する影響・課題の整理 ・D&Iビジョンにもとづく取り組みの推進 など
スポーツ	(9) 産官学・スポーツ界の連携による「スポーツで輝く関西」の実現	・「関西スポーツ振興ビジョン」の4本柱の取り組みの具体化、推進
経済財政	(10) 財政健全化と経済成長の両立に向けた経済財政運営の実現	・独立財政機関に関する調査研究 ・国際金融都市OSAKA戦略の推進 ・為替変動に関する調査・公表 など
国土・インフラ	(11) 複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・活用	・次期国土形成計画への意見発信に向けた検討 ・鉄道・道路をはじめとするインフラ全般の整備・活用に向けた働きかけ
その他	事業活動のベースとなる取り組み	・関西広域連合との懇談会、経団連との懇談会
	2025年大阪・関西万博	・ 万博基本計画の推進、機運醸成

関経連の委員会体制

統括委員会

関経連各委員会の重要事項の報告・調整等 松本会長

都市・観光・文化委員会

経済財政

企業制度

地方分権
広域行政

科学技術
産業振興

ベンチャー
エコシステム

地球環境
エネルギー

国土
広域基盤

スポーツ
振興

...

KANSAIブランド」展開、インバウンド促進、魅力ある都心づくり 角副会長（阪急電鉄会長）

都市創造専門委員会

- ・夢洲・新大阪駅周辺地域等での**まちづくり**推進
香川委員長（関電不動産開発会長）

都市OSWG

- ・関西広域での**データ連携基盤「都市OS」**
実装に向けた調査研究
下條座長（大阪大学教授）

都市創造専門委員会WG ※詳細は次頁

- ・都市創造専門委員会での意見交換に向け
た具体的な検討
藤野座長（関電不動産開発社長）

都市OSサブWG

- ・都市OSに必要な機能やデータ整備について
技術的観点から実証を実施
阿多座長（大阪公立大学教授）

「まちづくり」と「データ連携」の観点で連携活動中

4/15 大阪のスーパーシティ指定を機に両委員会合同イベント開催 等
(大阪府市・つくば市を招き、講演会やパネルディスカッションを実施)

- ・ 2012年「うめきた専門委員会WG」として発足。
- ・ その後、「うめきた」にとどまらず、注目エリアの「まちづくりのありかた」を検討実施。
- ・ **現在は、スーパーシティ・万博・IR等で注目される「夢洲」のまちづくりについて主に検討中。**



主な活動内容

設立当初 (2012年)

- ・ 関西イノベーション国際戦略総合特区への選定を契機に、「うめきた専門委員会」を設置。
- ・ 都市再生緊急整備協議会の大阪駅周辺地域部会への参加や、うめきた2期の民間提案募集に向けた検討。

現在 (2022年)

- ・ 【夢洲】最先端のスマートシティ実現を目指し、プラットフォームや検討体制、夢洲全体をマネジメントする組織等を検討。
- ・ 【新大阪】まちづくり基本方針策定に向け、次世代モビリティ活用など、他エリアとの差別化を図る機能を検討。

メンバー 全30社 (2022年8月時点)

【ゼネコン】清水建設、竹中工務店、大林組、鹿島建設、大成建設 【インフラ】関西電力、大阪ガス、NTT西日本
 【交通】Osaka Metro、近鉄GHD、京阪HD、JR西日本 【不動産】オリックス不動産、近鉄不動産、積水ハウス
 大和ハウス、野村不動産、阪急阪神不動産、三菱地所 【総合】オリックス、住友商事、三菱商事
 【ICT】トーマツ、日立製作所 【メーカー】住友電工、三菱電機、Panasonic 【その他】電通、UR、日本政策投資銀行

2. 関経連のスーパーシティへの取り組み (夢洲コンストラクションの推進)



関経連
より提案

【夢洲コンストラクション】 2023年～

最新技術を活用した建設工事の円滑化

- ・データ連携基盤による複数事業者間のデータ共有
- ・建設用ドローン、自動運転の活用
- ・AIによる渋滞予測、気象予測 など

【うめきた2期】 2024年～

未来の公園の実現

- ・リアルとデジタルの融合空間
- ・ロボットによる施設管理
- ・健康増進サービス など



うめきた2期

夢洲

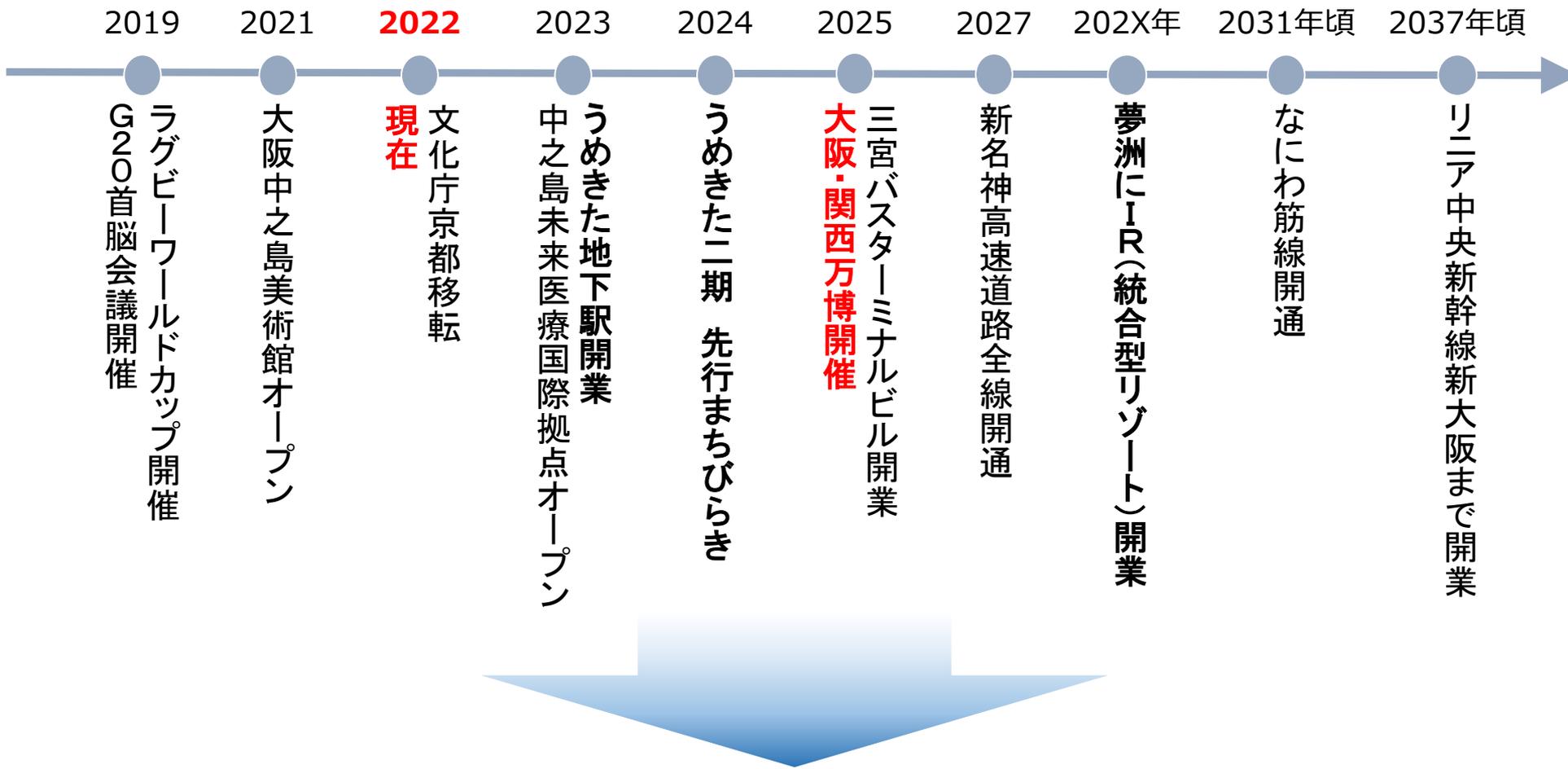
【大阪・関西万博】 2025年

未来社会の実験場

- ・空飛ぶクルマの社会実装
- ・自動運転での万博アクセス
- ・未来医療の体験 など



関西で行われた／予定されている大型イベント・プロジェクト



関西では、地域経済をけん引するビッグプロジェクトが、今後も目白押し

- 夢洲では、2025年の万博開催以降も、「I Rを中心とする第1期」「万博の理念を継承する第2期」「長期滞在型リゾートの第3期」のまちづくりが計画されている。
- 実施主体の異なる各事業を連携させる「**データ連携基盤**」を構築し、夢洲全体で一貫したまちづくりをおこない、より高度・先端的なサービスの提供を目指す。

夢洲コンストラクション

万博建設工事

'25年大阪・関西万博

1期（'20年台後半）

統合型リゾート（I R） ※国へ申請中

2期（'30年以降）

万博開催後の跡地を活用
（万博レガシーの継承）

3期（時期未定）

健康や長寿につながる長期滞在
型の上質なリゾートを想定



万博後、
2期開発
3期開発

※出典：大阪府市 スーパーシティ提案資料より関経連にて加工

なぜ、関経連は夢洲コンストラクションを提案しているのか？

～ 経済団体だからこそ、できること、やるべきこと ～

- 万博開催に向けて、民間各社の一致協力が必要
- 万博は、事業者未定の段階から取り組む必要がある、ビッグプロジェクト
- 夢洲コンストラクションは、建設分野で完結する取り組みではなく、まちびらき後にも発展・活用させていくことが可能
- **「スーパーシティ」**という貴重な機会の活用

- ・「夢洲コンストラクション」とは万博の開催に向けて、会場整備やインフラ整備等の建設工事を円滑に実施するための取組み。
- ・「データ連携基盤構築による効果的なデータ利活用」「規制改革」を活用し、以下3つの柱の実現を目指す。

夢洲コンストラクションの3つの柱

建設工事現場内外の移動の円滑化

- ・データ等の活用による交通量予測にもとづくピークシフト誘導
- ・位置情報及びデータ分析にもとづく車両誘導
- ・シャトルバスの自動運転化
- ・貨客混載

建設工事・資材運搬の円滑化

- ・BIM/CIM等を活用したデジタルツインによる建設工事の効率化
- ・データ及びセンシングによる局地的な気象予測及び防災情報提供
- ・ドローンによる建設工事の円滑化

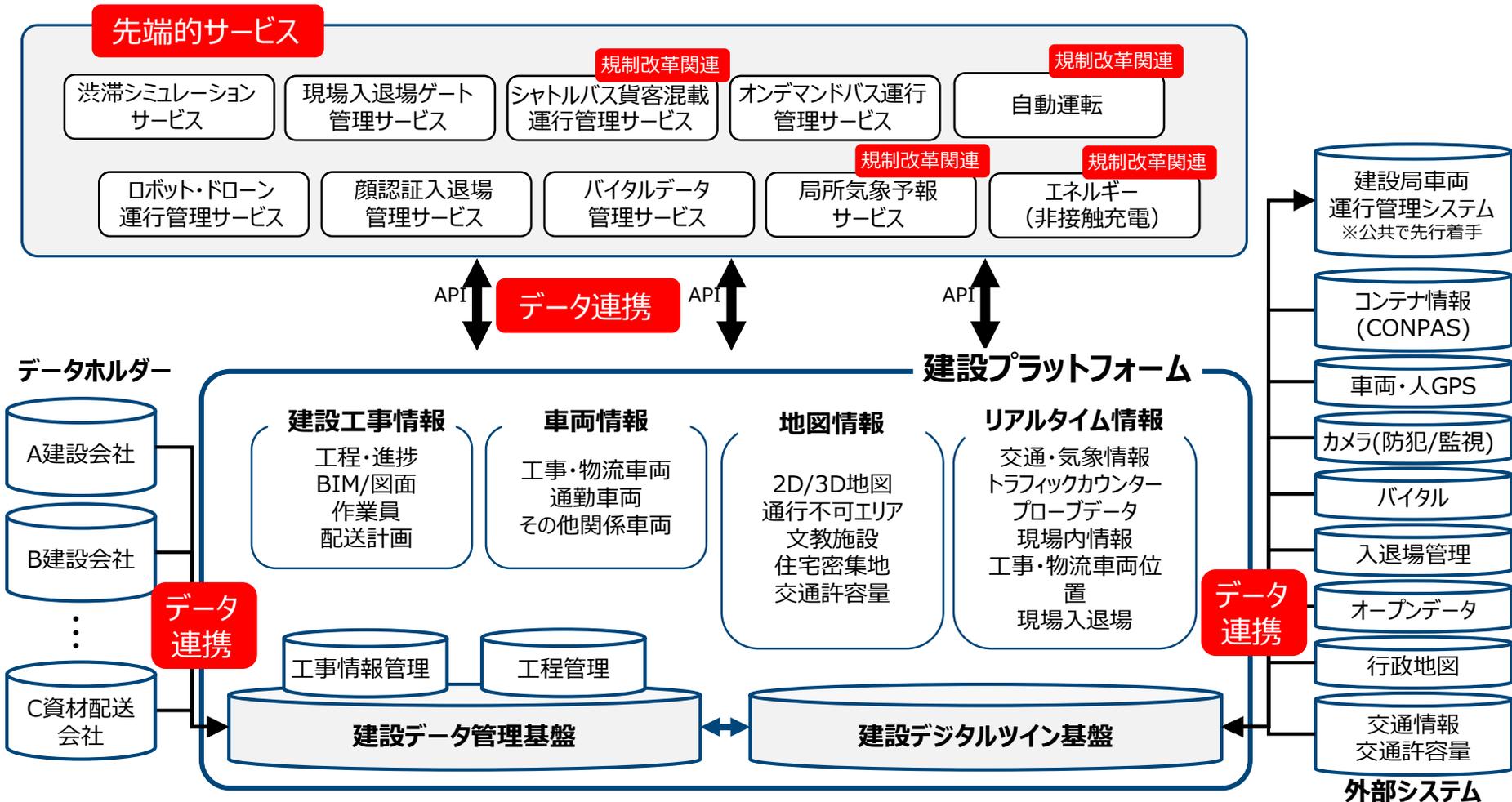
建設作業員の安全・健康管理の円滑化

- ・バイタル情報及び位置情報による建設作業員の安全・健康管理
- ・AI映像解析を活用した建設現場の安全安心の実現支援

夢洲コンストラクションで実現した技術やサービスを
全国の大規模建設工事をはじめ、まちづくりにも発展的に活用

- 夢洲コンストラクションでは建設工事を安全かつ円滑に進めるために、関係各所が保有する様々な**データの連携**について、外部の**先端的サービス**も含めた検討を実施。

全体イメージ図



※出典：大阪府市調査資料より関経連にて加工

- ・ 内閣府より、スーパーシティに関連する調査事業が以下の通り公募された。
- ・ 夢洲コンストラクションを対象として、特に工事車両の輻輳を防ぐための仕組みづくりに主眼を置き、**先端的サービスとデータ連携**を組み合わせた応募を実施。（詳細は次頁以降）

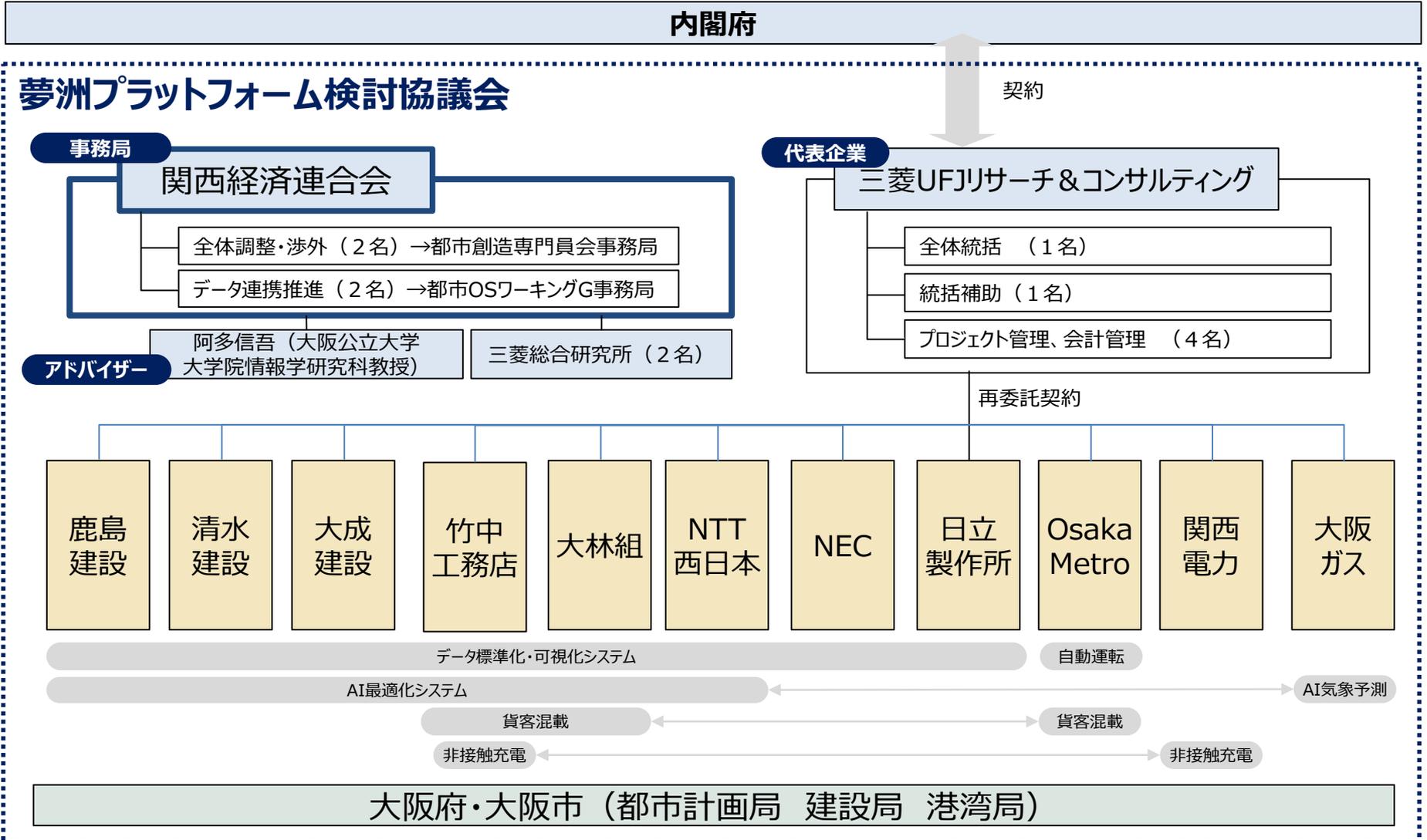
先端的サービスの開発・構築等に関する調査事業（概要）

令和4年6月1日

※詳細は企画競争公募要領をご覧ください。

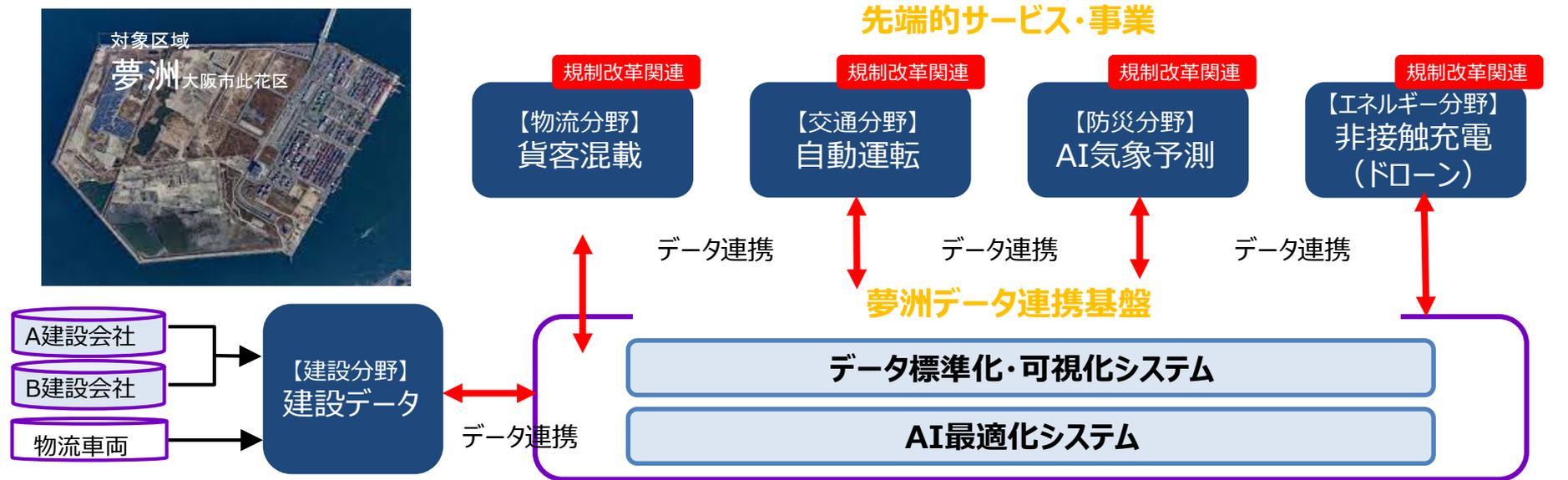
- 対象事業：民間事業者、大学等が、スーパーシティ又はデジタル田園健康特区において提供しようとする **先端的サービスの開発・構築**や、先端的サービスの実装のための **データ連携**に関する事業
- 実施主体：民間事業者、大学等 **Point 1** **Point 2**
- 選定基準：
 - ① 先端的サービスについて、スーパーシティ又はデジタル田園健康特区の構想に係るサービスであること
 - ② 先端的サービスについて、実証にとどまらず、社会実装を行うものであること
 - ③ 先端的サービスについて、先進性や革新性を有すること、国際競争力の強化又は地域課題の解決に資すること
 - ④ 先端的サービスについて、AIの活用やデータ連携などデジタル化に関連するサービスであること
 - ⑤ 本件調査が、大胆な規制改革や新たなルール・制度設計の検討につながること
 - ⑥ 本件調査の実施や本件の応募について、指定区域の自治体から同意等を得ていること 等
- 選定件数：10件～15件程度
- 選定方法：外部有識者も含めた選定委員会による審査を実施予定
- 予算総額：8億3,000万円
- 1件当たりの予算額：2,000万円～5,000万円（ただし、3分野以上又は3区域以上で取り組む場合等は上限1億円）
- スケジュール：6月1日～6月20日 公募期間、6月22日～24日 ヒアリング（予定）、7月上旬 選定（予定）

- ゼネコン各社、ICT各社、サービス提供者等から構成される民間各社と大阪府市にて「協議会」を組成し、応募実施。
- 関経連が事務局として、全体調整をおこなう。



- 建設段階においては、ゼネコン各社の建設データ・外部データや、各種先端的サービスが「夢洲データ連携基盤」を中心に、連携する。
- 将来的には、「建設分野以外」（2期事業）や「夢洲外」（大阪府下）への発展も想定。

夢洲プラットフォーム（建設時：夢洲コンストラクション）



2023年～（万博工事本格期）

2025年～（万博開催中）

2026年～（万博後）

夢洲プラットフォーム
（夢洲コンストラクション）
万博建設工事中の
車両マネジメント等システム
（工事車両、従業者等）

夢洲プラットフォーム
万博開催中の
交通マネジメントシステム
（観光バス、タクシー等）

夢洲コンストラクションの海外輸出

夢洲プラットフォームを夢洲の
まちづくりの基盤として活用（2期開発等）

夢洲で培った技術を活かし
多様なサービスを繋ぐ都市OS(ORDEN)へ

内容

・ 建設作業員の通勤用シャトルバスを作業員の輸送とあわせて、工事資材や弁当等の運送にも活用する貨客混載を実施。

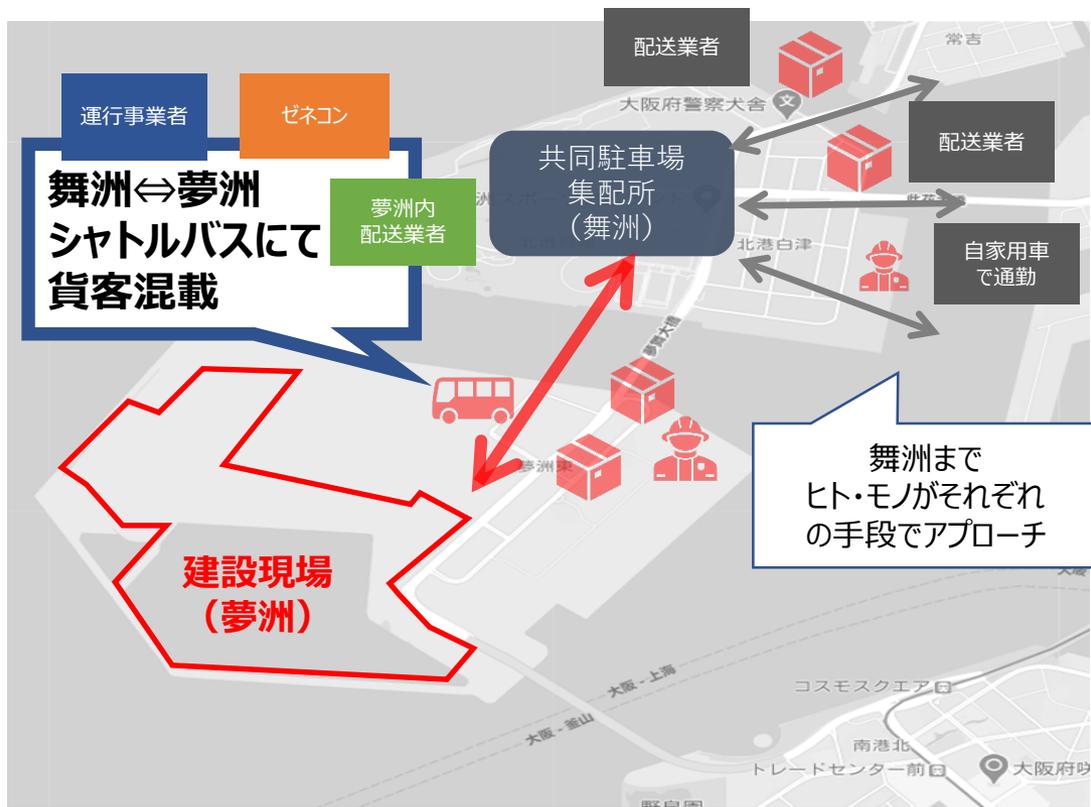
規制改革

・ 貨物自動車運送事業法において貸切バスの貨客混載が可能な条件となる「過疎地域限定」を緩和

効果

・ 夢洲内へ乗り入れる工事関係車両の削減による、交通渋滞の緩和

サービスのイメージ



内容

- ・ 夢洲内外を結ぶシャトルバスサービスを自動運転（Lv.2）にて運行（「夢洲内建設現場」 ⇄ 「夢洲外の駅及び共同駐車場」）

規制改革

- ・ シャトルバス運転に必要な資格要件を「大型二種免許」ではなく「大型一種免許」へ道路交通法を改正

効果

- ・ シャトルバス運転手の不足を解消し、建設工事の円滑化に寄与

サービスのイメージ



内容

- ・ 夢洲地域近傍で取得した気象データを活用し、高解像度シミュレーションとAI技術で当該地区に特化した気象予測サービスを実施

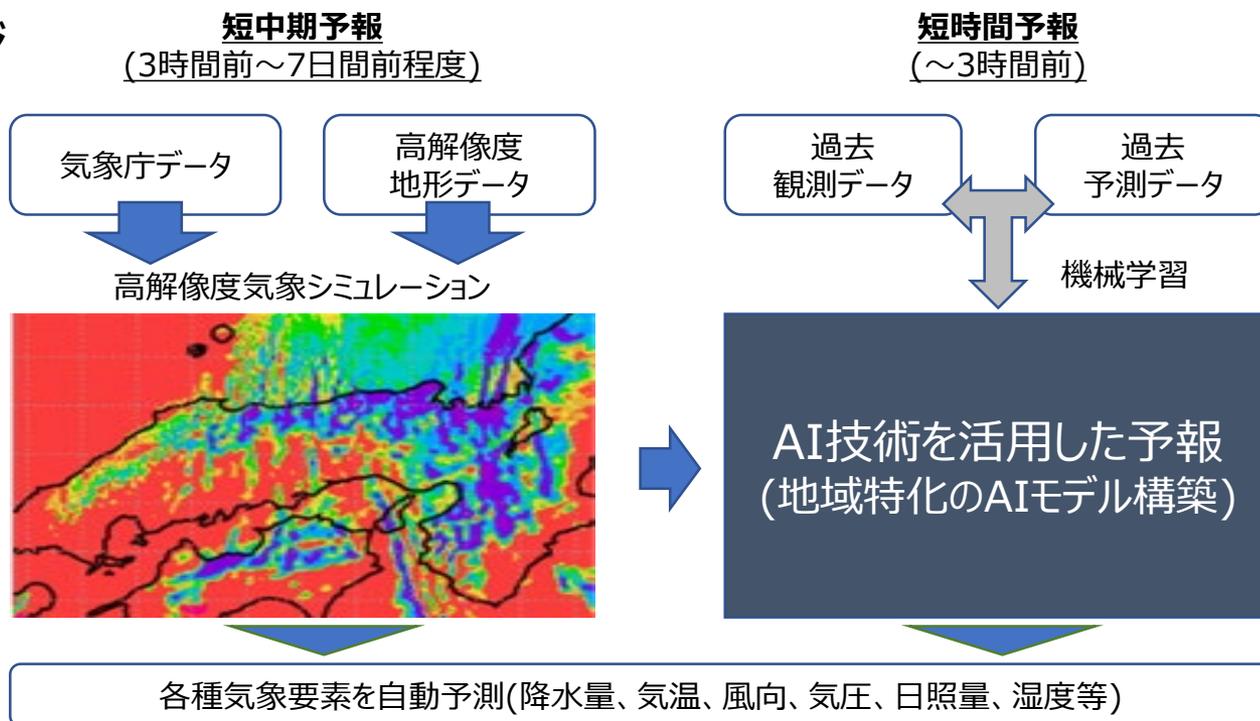
規制改革

- ・ 気象業務法の改正により、AI活用時の気象予報士の設置基準について緩和

効果

- ・ 他の天気予報に比べ高い予測精度を期待でき、作業員の熱中症対策や資材運搬の計画立案等へ活用することで、効率的な工事推進に寄与

サービスのイメージ



内容

- ・ 建設現場の測量・工事管理・見守りや、高所等への資材配送などにドローンを活用

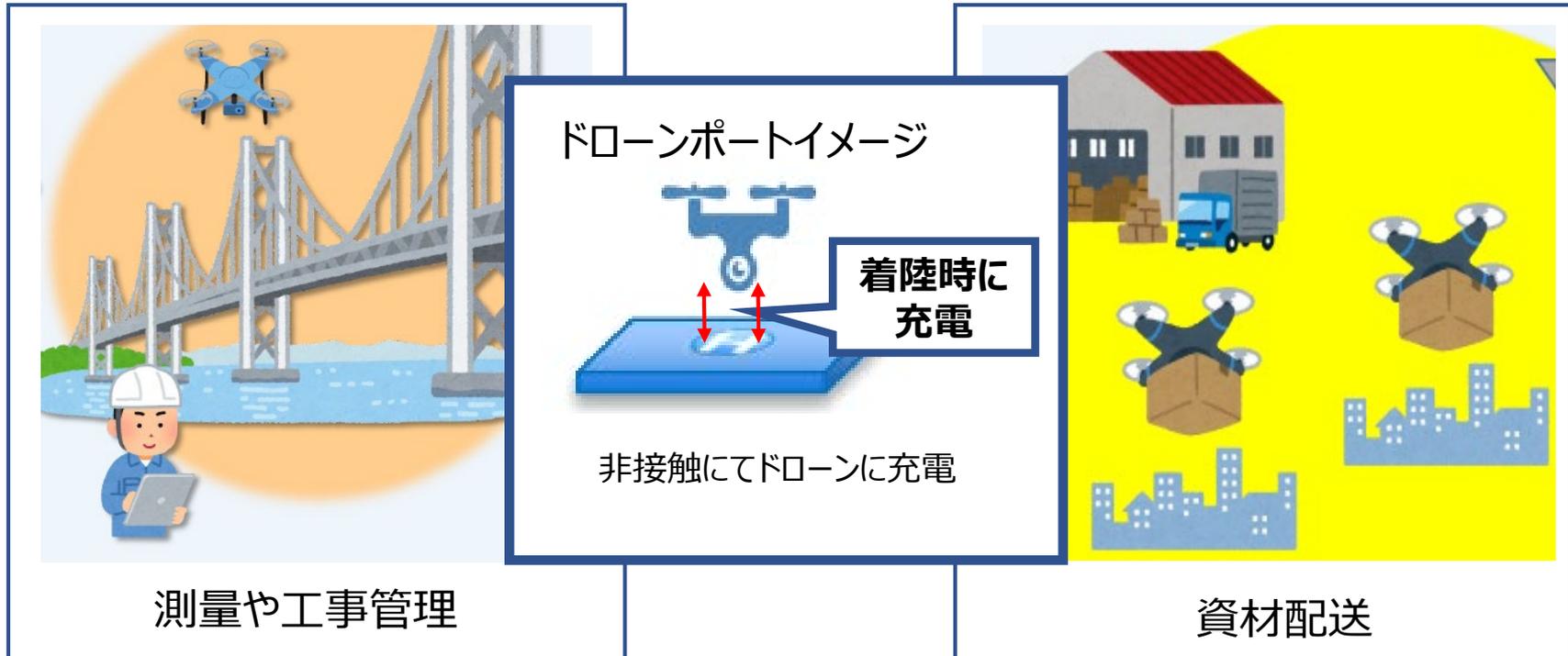
規制改革

- ・ ドローンの効率的運用に必要不可欠となる非接触式ドローンポート設置に際し、**電波法**にて求められている高周波利用設備申請手続きの簡素化

効果

- ・ 夢洲開発における工事の円滑な進捗や安全管理、ドローン活用の普及に寄与

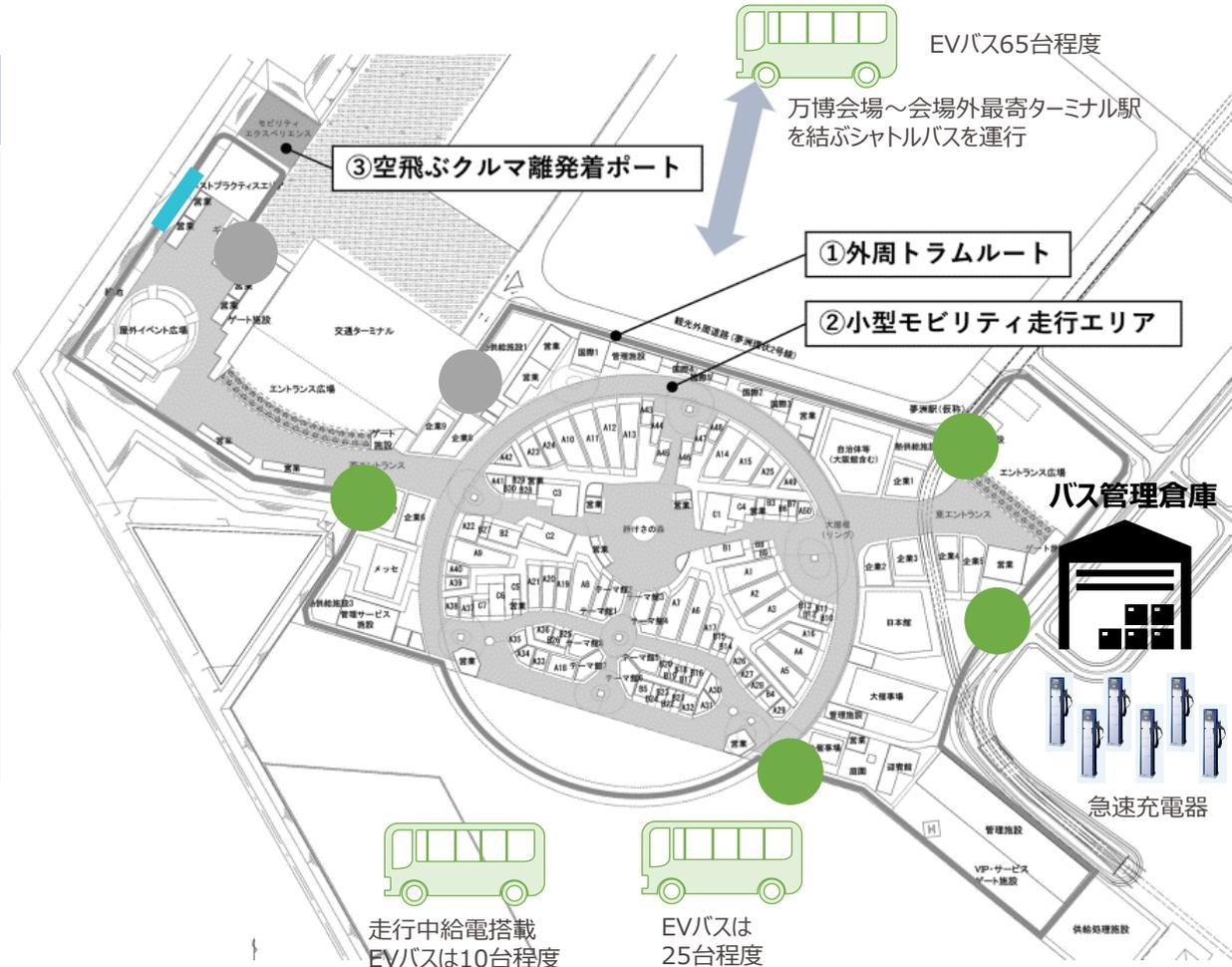
サービスのイメージ



- ・グリーンイノベーション基金の事業として、大阪万博の会場内外を活用して、関西電力、大阪メトロ、ダイヘン、大林組、ネクスコ東日本のコンソーシアムにて、以下の実証を実施
 - ～電気バスの運行管理と一体となったエネルギー管理システムを用いて、電気バスを大量導入した場合の電力使用の負荷平準化等、効率的なエネルギー利用が可能な社会を実現
 - ～走行中給電システム等の最先端の技術も導入し、自動運転と自動給電を組み合わせたスマートモビリティ社会を構築

GI基金を活用した万博実証イメージ

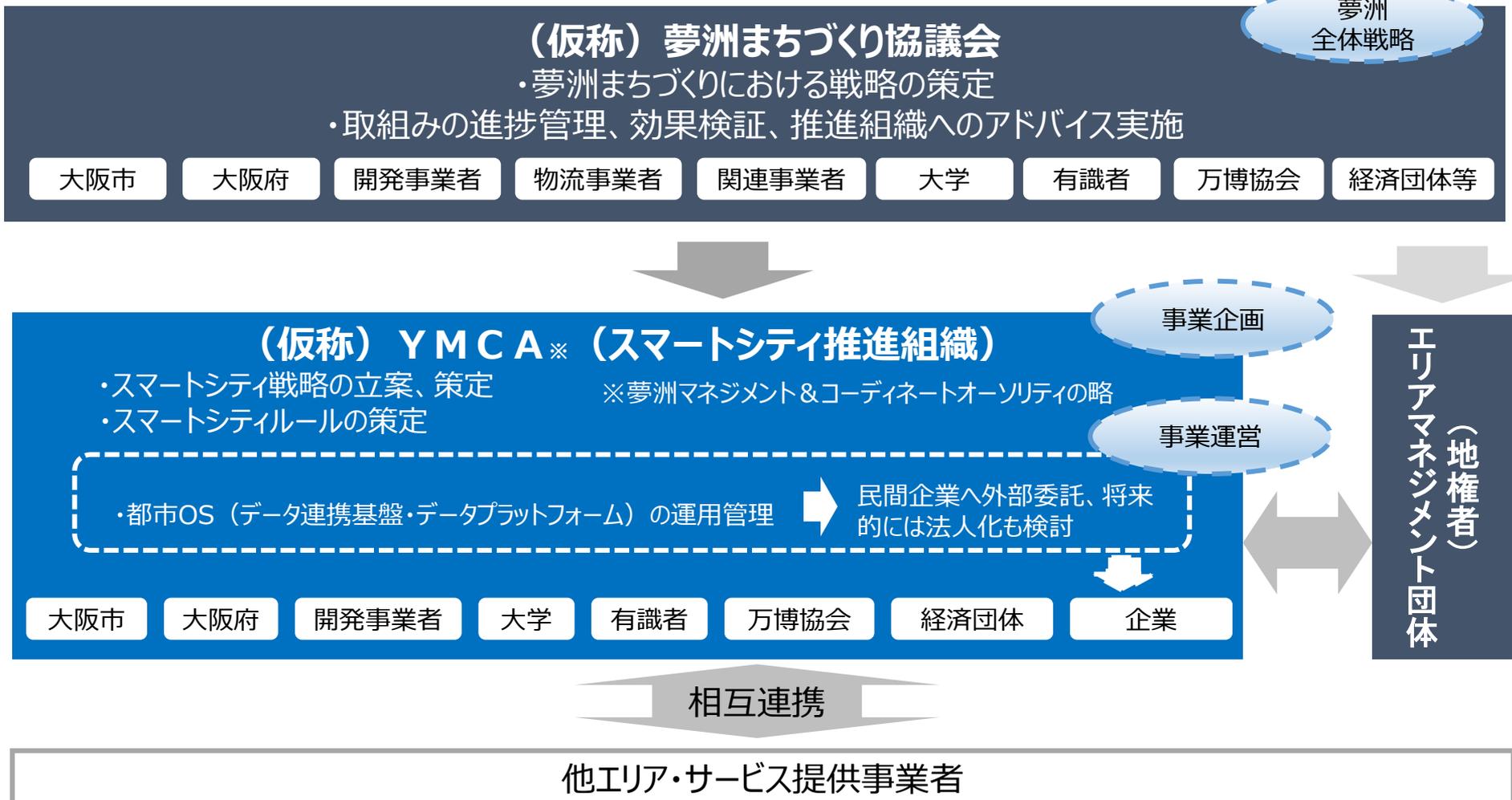
	GI基金での実証 (計画)
実証内容	走行中給電と急速充電器を活用した、運行管理とEMSによる大規模充電マネジメント実証
車両台数	約100台 ※10台程度に自動運転・走行中給電搭載
会場内設備	走行中給電と急速充電器の組み合わせ
実証エリア	万博会場内外周トラム 万博会場外輸送シャトルバス運行エリア



3. 関経連の夢洲まちづくりへの取り組み

- ・ 夢洲まちづくりにおける「組織の在り方」についても検討実施中。
- ・ (仮称) Y M C Aを夢洲内のスーパーシティ (スマートシティ) を推進する組織として提案中。
- ・ 行政・経済団体・民間事業者等関係者が参画し、万博レガシーの継承を狙う。

検討案のイメージ



ご清聴ありがとうございました